

旧養父グンゼ跡地活用方策（骨子）

～「（仮称）養父ベンチャーズビレッジ」構想～

基本的な考え方

- 養父市では時代の潮流に的確に対応しながら、**将来に向けて持続可能な発展**を成し遂げ、将来の養父市を担う子どもたちが将来にわたって“**住み続けたい**”と思うことができる**まちづくり**を進めていく必要がある。
- 当該プロジェクト地の歴史的背景を踏まえ、多様な働き方、暮らし方ができる全く新たな空間『**知と創造の拠点**』を創り、**地域のにぎわいを取り戻す**とともに、**過疎化が進む地方でのモデルケース**となり得るまちづくりに取り組む。



基本コンセプト

➢ 域内外の**クリエイティブな若者**が集い循環し、
新たな事業やサービス展開にチャレンジ

知と創造の拠点

➢ 市内全域をはじめ但馬地域全域、さらには全国・世界へ波及する
但馬地域のベンチャー（新しい事業やサービスを展開している企業）支援の拠点

導入機能（例）

インキュベーション施設

スマートアグリ、地域性を活用した事業や活動、健康、医療などのトレンド分野など、ここへ来れば**何でも挑戦ができる実験場・研究施設・コワーキングスペース**等。



短期滞在施設

チャレンジする若者が滞在できる短期滞在施設。



商業・カフェ・イベントスペース

日常的な買い物を支える商業機能、カフェ・イベントスペース。
地域住民を含めた**内外の人的交流**を促す。



地域住民の学習・活躍の場

地域住民の**学習の場**としての図書室等の**教育施設の整備**（誘致）。



研究拠点（誘致）

県の成分試験場、実験場など、**広域的な研究拠点等の誘致**を図り、研究拠点としての地位を確立。



中核管理会社の創設

プロジェクト地の**施設管理**や、**起業支援**のアドバイス等

公共交通の充実

広域的な交流機能・産業機能を持った拠点として機能させるため、周辺集落との**交通ネットワーク**はもとより、**将来的な公共交通の充実**に向けても検討する。

想定するターゲット

技術革新などのチャレンジで足跡を残したい企業・人材

技術革新による新たなビジネスモデルづくりや、

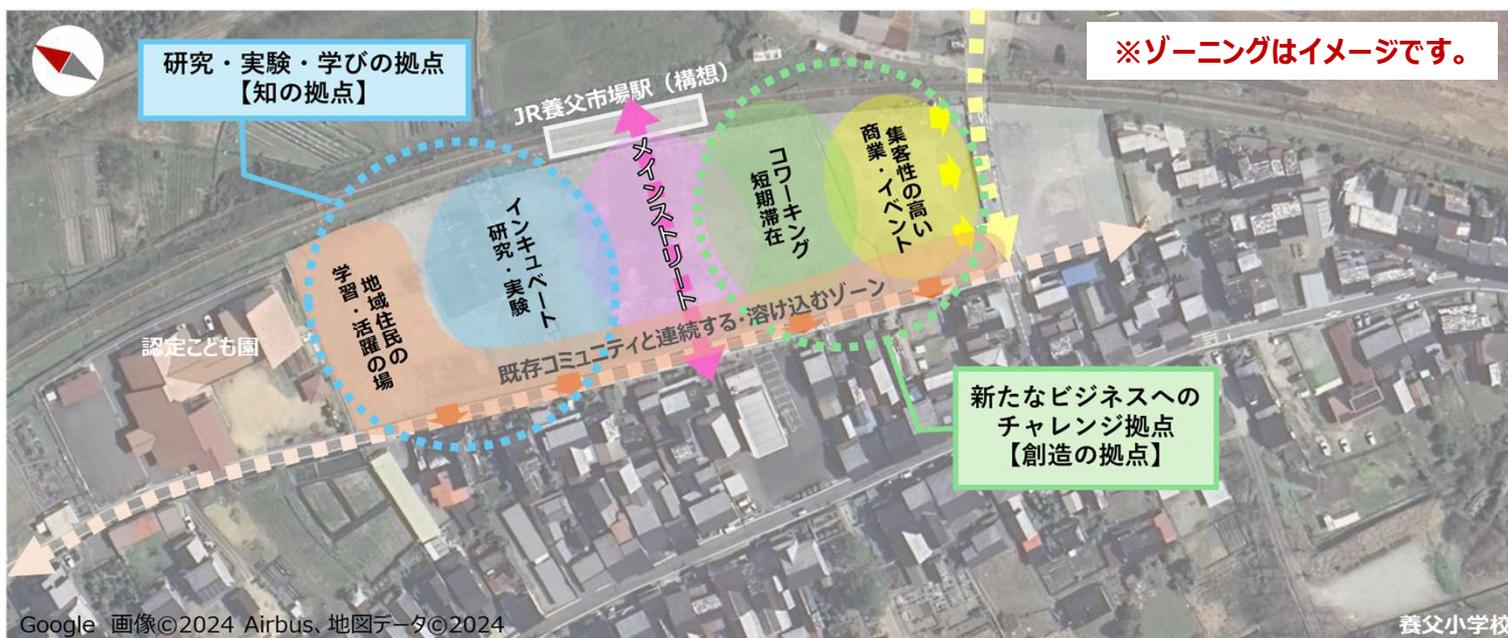
新しい技術を活かしたビジネスにチャレンジする意欲のある企業・人材

プロジェクト地と周辺環境との連携

外発的な要素（外部から流入）と**内発的な要素**（地域ポテンシャル）が、合わさり、協働することで互いに高め合い、地域の活性化に繋がります。

連携のポイント

- 意欲的な組織との連携による**地域の新たな特徴作り**（地域内の民間企業と積極的な協業）
- 養父地域一帯の地域資源を活かし、**地域全体で生業・居住が継続**する場へ（空き家・空地・農地の活用）
- 地域住民も活躍**できる場へ（地域住民が学習・活躍できる場、地域主体の施設運営）



地域への波及

■ ターゲット誘致に伴う地域の生活環境の向上

- ・商業機能、カフェ等の導入により、地域の生活の利便性等、**生活環境の向上**に繋げる。
- ・流入する人材の家族に対応し、ITを活かしオンライン教育等の**教育環境を整備**。
- ・他には類をみない生活環境の地域として、企業等の誘致、起業を促進し**人の交流**を促す。
- ・地元企業との連携による**地域教育の充実**、この場所から**新しい事業を創出**する。



■ 定住人口増加や地域の魅力創出へ

- ・周辺の空き家・空地等を活用し、**企業・人材の住まい確保**を全力で支援し定住を推進。
- ・地域と行政が一体となった**受け入れ体制の構築**で人口増加へ繋げる。
- ・地域の方々が、散歩等で気軽に立ち寄れるスペースや、**企業や人材の方々と交わる機会**をつくり、これまでの地域にはない、**地域としての新たな魅力創出**に繋げる。



今後の進め方

今後は、地域の皆様と共有のうえ、地域が描く子や孫の世代へつなぐまちづくりのあり方とすり合わせ、実現に向けて取り組んで行く。